ベラルーシ公開情報とりまとめ

(10月31日～11月6日)

2022年12月22日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 国民議会議員3名がアブハジアを訪問(11月1日)
- フレニン国防大臣は、ロシアとの合同演習「同盟の盾 2023」の実施に向けた準備の開始を発表(11月2日)

【ルカシェンコ大統領動静】

- 「ベラルーシ国立生命工学公社(BNBK)」を視察
 - ・大統領は、ウクライナ侵略への直接参戦を改めて否定。露と共同での人工衛星集団の形成につき述べた他、多子世帯や軍・治安関係者に対する住宅保証の強化を発表。
 - ・大統領はまた、同公社建設にあたっての中国からの支援に感謝を述べるとともに、近い将来に習近平・中国国家主席と会談する意向である旨付言。
 - ・同公社操業開始式典には、キルギスがベラルーシに引き渡しを求めているダニヤル・ウセノフ元キルギス首相も同公社総裁として出席。(11月4日 大統領府、「ゼルカロ(鏡)」)

【外交】

- ベラルーシ・トルコ両国外相電話会談
 - ・マケイ外務大臣は、穀物取引実施プロセスの再開に対するトルコの尽力を評価。
 - ・首脳レベルで合意された事項の実施や近い将来の二国間の行事につき協議。また、ウクライナ情勢を含めた目下の出来事についても協議。(11月3日 外務省)

●国民議会議員がアブハジア訪問

- ・11月1日、ベラルーシ・ロシア連合国家議員会議の代表団がアブハジアを訪問。ベラルーシからは3名の議員が参加。
 - ・訪問の目的や具体的な成果等は不明。ベラルーシの外務省や国営メディアは本件につき沈黙。
- (11月1日 アプスヌィ・プレス、3日 「ゼルカロ(鏡)」)

【内政】

- 11月5日現在の政治犯の数は1,394人(11月5日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【治安・軍事】

- 英国防省は、ロシア軍がベラルーシに空中発射型ミサイル「キンジャル」をベラルーシに持ち込んだ可能性ありと発表(11月1日 英国防省、Reform.by)
- ベラルーシ・ロシア両国共同軍事訓練センター設立に向けた協定案の承認
 - ・10月31日、大統領は、ベラルーシ・ロシア両国共同軍事訓練センター設立に向けた協定案を承認。
 - ・同日、レヴェンコ国防省国際軍事協力局長は、ベラルーシ国内2か所及びロシア国内1か所の訓練センターで兵員の練成が行われている旨発表。(10月31日 大統領府、レヴェンコ国防省国際軍事協力局長 Twitter)
- ベラルーシ・ロシア両国国防省参与会(ビデオ形式)
 - (1)フレニン国防大臣
 - ・ベラルーシ・ロシア両国合同作戦演習「同盟の盾 2023」の実施に向けた準備が開始。
 - ・本演習は来年度における戦闘指揮機構及び部隊の両国共同での準備にかかる主要な行事。
 - (2)ショイグ露国防大臣
 - ・両国大統領の決定により、10月22日からベラルーシ領内で、連合国家地域軍集団の構成部隊である兵団や戦闘部隊による戦闘集結行事を実施中。(11月2日 国防省、「ゼルカロ(鏡)」)

●独立国家共同体(CIS)国境軍司令官評議会(於ドゥシヤンベ)

ラッポ国家国境委員長は要旨以下を述べた。

- ・ベラルーシ・ロシア両国国境警備隊の優先課題は、連携強化、非合法活動の摘発・事前の情報共有・防止、両国の連携の形態と方式の改善であった。
- ・両国共同特別国境作戦には他の治安維持機構も参加し、国境の安全保障の分野におけるそれぞれの職責を果たした。

(11月3日 国家国境委員会)

●ウクライナ軍が、ベラルーシ領内にイラン製無人航空機(UAV)が配備された旨発表

ウクライナ軍参謀本部作戦総局副局長フロモフ准将は要旨以下を述べた。

- ・ロシアがイラン製 UAV をベラルーシ南部ブレスト州ルニネツ近郊の航空基地に配備。
- ・ベラルーシからウクライナに対する侵攻の兆候なし。連合国家地域軍集団の編成の主眼は、ウクライナ軍の注意をベラルーシ国境にそらすこと。
- ・ロシアの地上軍の第1戦車軍の主力部隊がベラルーシに移動し、ベラルーシの主な軍事演習場に展開。
- ・兵員の錬成と戦闘集結という課題が解決されるのは早くとも2~3か月後。

(11月3日 Reform.by)

●周辺国でのベラルーシ製違法たばこの摘発

(1)ロシア

・10月31日、露スモレンスク州税関は、税関申告のないベラルーシ製たばこ 300 万ロシア・ルーブル(4万8,500ドル)相当を摘発。

・11月2日、露カリーニングラード州税関は、欧州連合(EU)域内に密輸されようとしていたベラルーシ製のたばこ 1億6,700万ロシア・ルーブル(270万ドル)相当を摘発。

(2)ウクライナ

・11月4日、ウクライナ経済安全保障局は、密輸されたベラルーシ製たばこ 150万フリヴニャ(37,000ドル)相当を摘発。

(11月1日、2日、4日 ニュースサイト「ゼルカロ(鏡)」)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(10月31日~11月6日)

- ・リトアニア国境警備局は少なくとも246人を阻止。
 - ・ラトビア国境警備隊は少なくとも52人を阻止。
 - ・ポーランド国境警備隊は少なくとも636人を阻止。
- (11月1日~7日 BPN)

【経済】

●2022年のカリ肥料輸出が前年比で半減の見込み

カナダの鉱物性肥料大手企業「Nutrien」は2022年1月~9月の決算を発表。ベラルーシ及びロシアからのカリ肥料輸出に関する見通しは要旨以下のとおり。

(1)2022年(対前年比)

- ・ベラルーシ ▲50%~▲60%
- ・ロシア ▲20%~▲25%

・2023年(2021年比)

- ・ベラルーシ ▲40%~▲60%
- ・ロシア ▲15%~▲30%

(11月3日 カナダ企業「Nutrien」、11月4日 BPN)

【抗議勢力の動き】

●「統一移行内閣」の「財政・経済担当大臣」が辞任

・11月2日、起業家のタチアナ・ザレツカヤ氏は、「統一移行内閣」の「財政・経済担当大臣」を辞任する旨、自身のフェイスブックで発表。

・同氏は理由として、自身や親族、自身が経営する企業の従業員に対する圧力が増大したためと説明。

(11月2日 「ゼルカロ(鏡)」)

●被抑圧者支援団体「BYSOL」からの離脱の動き

・11月4日、アレクサンドラ・ズヴェレヴァ氏が「BYSOL」から離脱したことが判明。「BYSOL」は同氏の離脱理由については明言せず。

・ズヴェレヴァ氏は、ヴィクトル・ババリコ元大統領候補の子息エドゥアルド・ババリコ氏の元交際相手。

(11月4日 Euroradio、「ゼルカロ(鏡)」)

(了)